

某小学校雨漏り修繕工事



1. 工事概要

・漏水診断

エダ式工法「特許 1339367号」CO₂ガス圧入による検知システム

スラブ漏水跡クラック部分へ診断用ガス(CO₂送入装置)を設置し、同所からその水みちに対し雨水の侵透圧とされる0.06～0.15MPaの圧力でCO₂ガスを圧送した後、屋上で漏水の原因と推定さるる部位についてCO₂検知機(高感度ガス検知機)により測定した。

・漏水補修

コンクリートに発生したクラック及び

各種防水層の不具合に起因する漏水補修に用いる注入工法

2. 漏水箇所



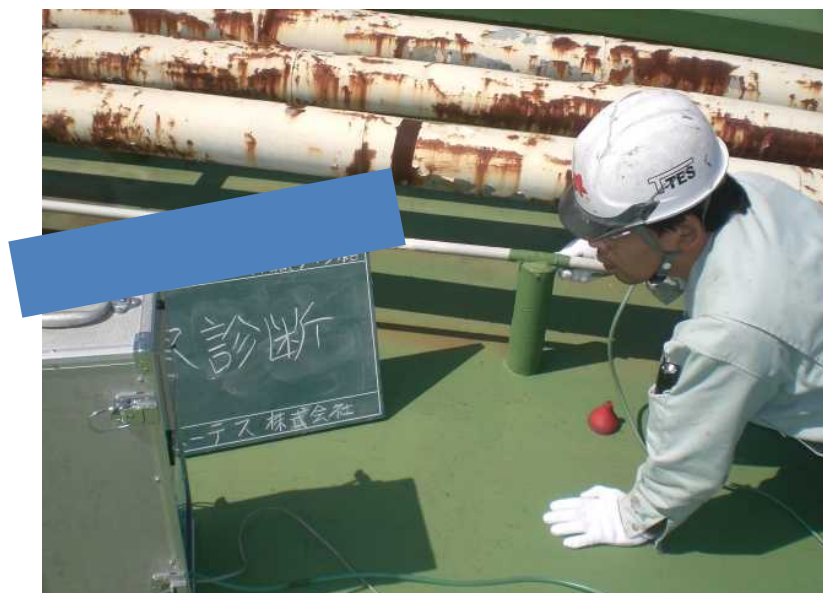
3. 漏水診断



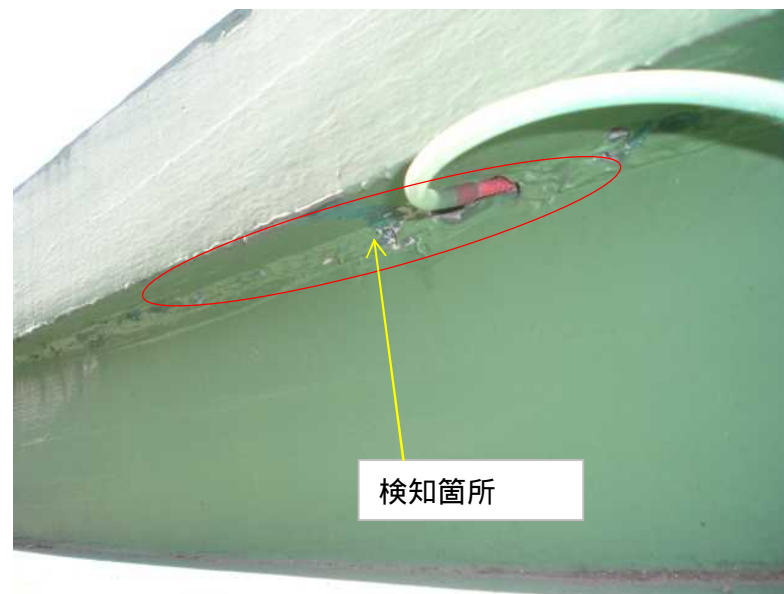
ガス注入器



ガス検知器



ガス診断中

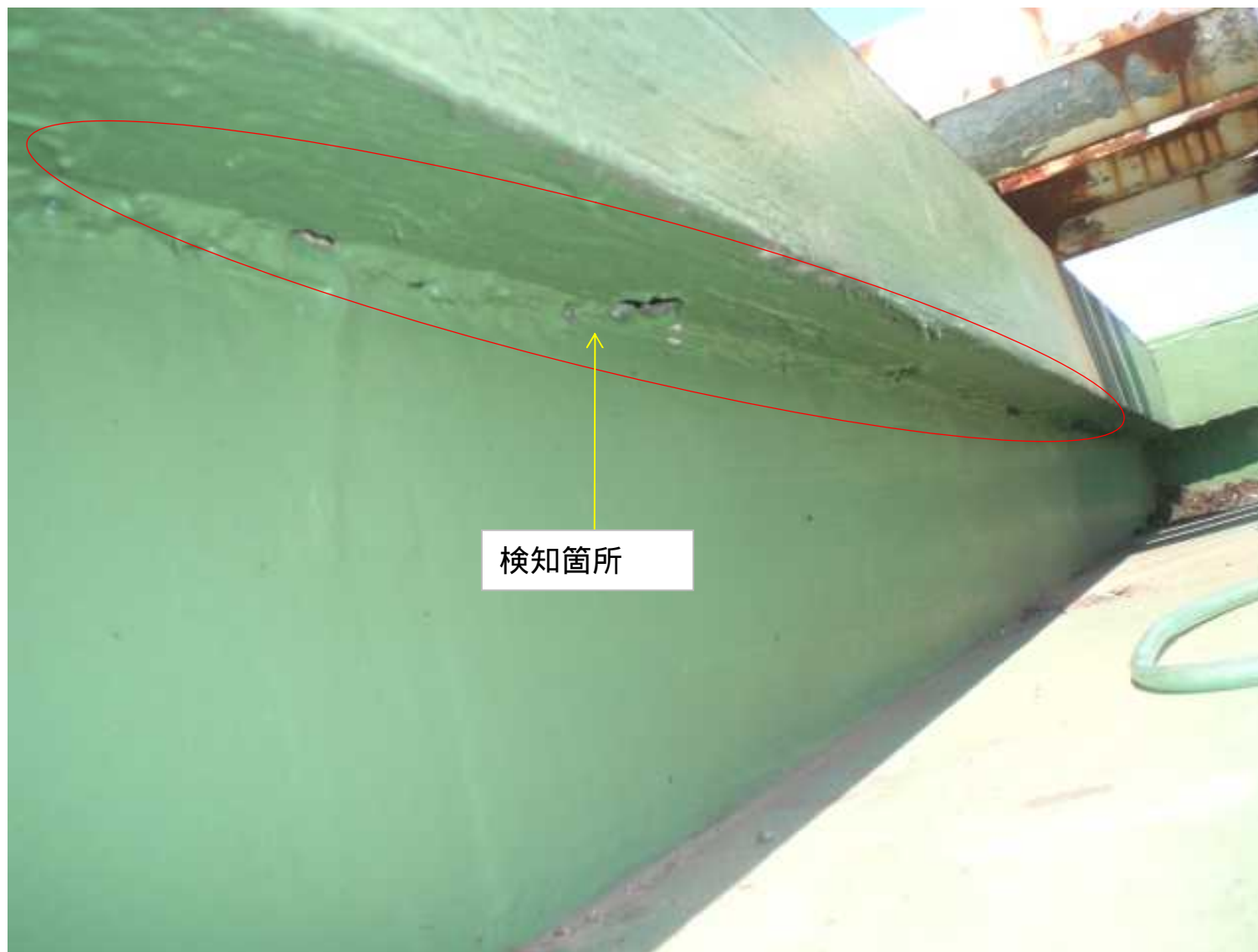


ガス検知箇所

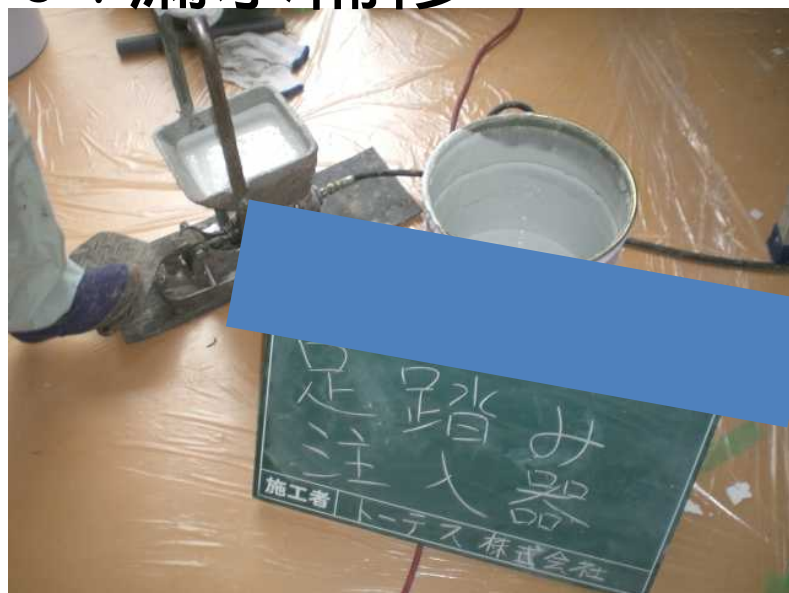
4. 漏水診断結果

検知箇所

屋上防水層の立上り端部の隙間



5. 漏水補修



足踏み注入器

クラックより5cmほど離れたところにガス注入用の穴を穿孔しガスを注入して
屋上の防水の各所を診断したところ、雨漏れ箇所に近い屋上防水層の立上り端部に
ウレタン防水の穴を発見出来たその穴からガスを感じました。



防水接着剤トマーレE



ガス検知箇所のコーキング処理